

報道関係者各位

2026年4月8日

宇土市役所

Press Release

—お問い合わせ—

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



地域の宝「マルメロ」—献上菓子の歴史と春の花を楽しむ

走潟公民館でマルメロの花が見頃、伝統の味でおもてなし

宇土市走潟地区で、地域の特産であるマルメロの花が見頃を迎えています。走潟公民館では、淡いピンク色の可憐な花が咲き誇り、春の訪れを感じさせる風景が広がっています。

マルメロはポルトガル語「マルメロ(Marmelo)」を語源とし、南蛮文化とともに日本へ伝来した果実です。江戸時代には、その実を加工した菓子「かせいた」が献上品として用いられるなど、貴重な食文化として扱われてきました。芳醇な香りと保存性の高さから、当時は上質な甘味として重宝されていたと伝えられています。

走潟地区では、こうした歴史あるマルメロ文化を受け継ぎ、現在も地域の宝として大切に守られています。その中心的な役割を担っているのが「走潟マルメロ会」です。同会は約12年前に結成され、現在約20人の会員が活動しています。走潟公民館に5本、走潟小学校に6本の木を植栽するほか、各会員宅でも栽培を行い、地域全体でマルメロを育てています。

また、栽培だけでなく、次世代への継承にも力を入れており、小学校での袋掛けや収穫体験、ジャムづくりなどを通じて、子どもたちに地域資源の魅力を伝えています。さらに、かつて献上品であった「かせいた」についても現代に受け継ぎ、マルメロを使った加工品として販売するなど、歴史と食文化の継承にも取り組んでいます。

現在見頃を迎えている花は、4月15日(水)頃まで楽しめる見込みです。また、4月11日(土)および12日(日)には、マルメロ会女性会員によるおもてなし企画を実施します。11日(土)は「マルメロまんじゅう」、12日(日)は「マルメロようかん」を来場者へ提供し、地域の恵みを味覚でも体験いただけます。

【実施概要】

見頃期間:令和8年4月6日(月)~4月15日(水)頃

時間:9:00~16:00(12日まではマルメロ会員が左記時間で滞在し案内します)

場所:走潟公民館(熊本県宇土市)

【おもてなし内容】

・4月11日(土)マルメロまんじゅうの提供

・4月12日(日)マルメロようかんの提供

(どちらも、マルメロの実を煮詰めたものを餡にしています)

【この件に関する問い合わせ】走潟公民館 担当:芥川 ☎0964-23-2877 (9:00~正午)

